

入居者・家族・職員・地域 共に歩む “心通いあう やまだて家族”

山館苑 だより



山館苑の応援団長
【やまちゃん】

9月に入っても残暑の厳しい日が続いておりましたが、近頃は朝方に寒くて毛布や掛け布団が必要になってまいりました。寒暖の差がある季節ですので、入居者の方々の健康管理に努めて過ごしております。

山館苑では9月16日に敬老会を開催し、白寿を迎えられた方2名、米寿を迎えられた3名の入居者・利用者の方々とお祝いを致しました。

祝宴の料理も「美味しかったよ」「ご馳走だった」と、ありがたい言葉を多数いただきました。他の入居者の皆さんも、金屏風やフラワースタンドの前でたくさん記念写真を撮りましたので、後日、ご家族の皆様にもご覧いただきたいと思っております。

今年もつつがなく敬老の日を迎えられましたこと、山館苑より心からお祝い申し上げます。これからもご健康で明るくお過ごしください。



敬老の日は私たち介護施設に勤めるものにとって大事な祝日である為、これを機会に由来を調べてみました。敬老の日の発祥は昭和22年に兵庫県多可郡野間谷村で「お年寄りを大切にし、お年寄りの知恵を生かした村作りをしよう」という考えのもと「としよりの日」が提唱されたのが始まりだそうです。農閑期であり気候も良い9月15日を「としよりの日」と定めたその提唱は、次第に全国に広がっていきました。その後、「としよりの日」ではなくもっと良い呼び方にしようということで、「老人の日」と改称され、昭和41年に国民の祝日「敬老の日」となりました。2002年まで9月15日と決まっていたのですが、ハッピーマンデー制度が適用され、2003年からは9月の第3月曜日に決まり現在に至るそうです。

敬老の日は、何かとめまぐるしい現代社会において、身近な人を大切に、感謝する気持ちを思い出させてくれる休日です。少し照れくさいのですが、ご両親などの大切な人へ花やギフトをプレゼントして感謝の気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。



家族の絆を確かめあう 残された時間を大切に

